

おあしり結うたを
おきくそのかたわ



菱湖題箋



於安屯物語

菱湖卷大任題

丙保中酉冬日
三可書屋校所

お阿婆物語

お阿婆もあつまりておあんなむもむの物つりあり
なやれませといふぞ。おまごの親父おんぶは石田吉磨と
いふて石田治初ぢぢ少補辰せうぶぢんよき公こうこうあふみのむす
根ねも若わかられしころそのうち治初ぢぢごの馬ま津つ及およ比ひ時とき
美濃みのの國くにおほ垣かきおほ一ひとあつりて。あふみな
く一ひとあふ馬ま津つよあつりて。あふみな
るが。おあんなもあつりて。あふみな
く男女おんな二十ふたじゅう人にんほどのあつりて。田た津つ兵へい戸この

おあんな

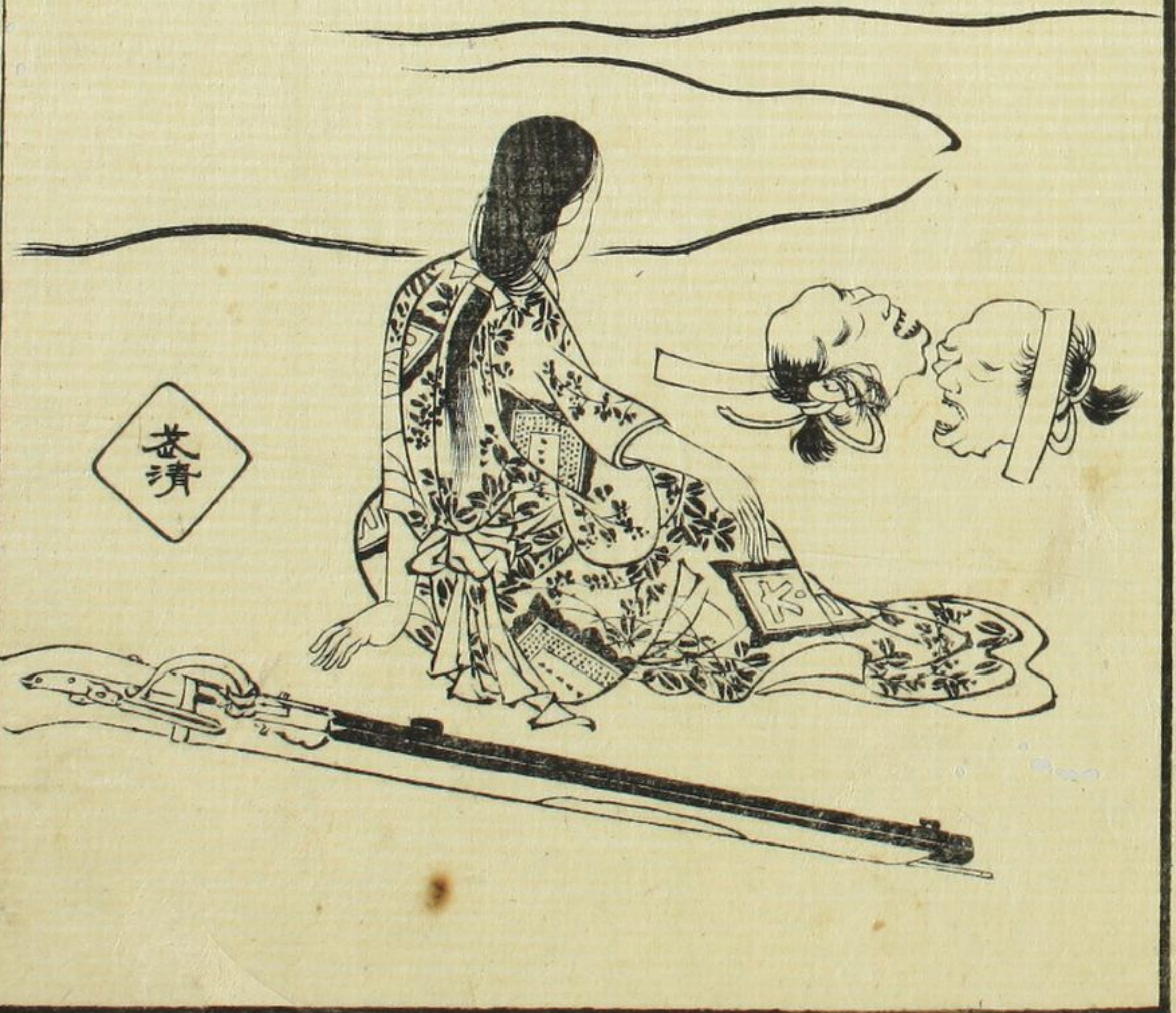
海陸叢書

て。それ。ふれを。は。ん。て。覚。え。お。も。い。ふ。く。び。ふ
 お。き。づ。海。を。付。て。お。志。を。う。そ。積。み。お。せ。あ。り。お。む。し
 吾。お。は。ご。ろ。そ。い。よ。た。人。と。て。貴。族。し。た。う。れ。お。志。ら
 皆。お。首。い。お。は。ご。海。行。て。死。ま。し。た。あ。け。お。せ。お。お。い
 屋。つ。い。ご。び。も。こ。は。い。その。で。は。あ。ら。ぬ。その。首。ご
 も。お。血。を。お。中。ふ。痛。こ。こ。ご。お。い。に。は。る。日。
 小。せ。手。を。り。鉄。砲。う。ち。け。お。ま。け。ハ。株。を。お。ら
 ひ。は。ん。と。す。殊。乃。死。の。し。ろ。の。う。ら。は。ま。の。ご。い。お
 お。ご。お。い。お。は。ご。その。ご。い。お。ご。お。ま。を。敵。の

げ。の。い。ま。お。い。は。い。い。お。も。い。お。お。や。の。お。ご。い。お。な。
 志。ご。ま。り。お。い。い。お。い。お。い。お。い。お。い。お。い。お。い。お。い。
 お。い。十。の。業。ふ。お。あ。い。お。い。お。い。お。い。お。い。お。い。お。い。
 ま。む。り。ご。い。ご。い。ご。い。ご。い。ご。い。ご。い。ご。い。ご。い。ご。い。
 半。城。え。て。お。志。を。つ。の。う。に。お。い。お。い。お。い。お。い。お。い。お。い。
 ち。は。く。矢。婦。女。お。り。て。吉。磨。る。ハ。家。庭。様。法。は。な
 ら。ひ。の。海。海。面。に。お。い。お。い。お。い。お。い。お。い。お。い。お。い。お。い。
 どの。城。を。の。ご。お。た。く。お。あ。お。す。た。お。い。お。い。お。い。お。い。お。い。
 へ。たり。ご。我。お。ら。い。ハ。路。次。の。ご。ご。ら。ひ。も。い。は

おあん
 三
 毎
 日
 書
 下

おあん



四

梅圭叢書



梅圭叢書

おあん



六

梅桂叢書



志清

梅桂叢書

用意ハ先々へおはし。もあはれども多分。いせ。父
能水をもめて。おき。を。い。あ。は。見。ん。ま。お。ら。山
へ。鉄。砲。を。も。ら。ふ。ま。あ。ら。は。い。い。ま。さ。ら。お。れ。た。飯。を。か
し。た。ま。い。る。あ。ふ。も。持。た。た。その。時。ふ。わ。き。ま。も。あ。は
り。鉄。砲。を。ら。う。て。い。い。て。お。ら。や。つ。も。ま。見。ん。様。せ。い
く。す。め。て。鐵。砲。を。も。ら。ふ。い。い。ま。あ。ま。ら。み。う。て。茶
ら。あ。ん。あ。そ。う。夜。飯。も。な。い。お。き。の。十。二。三。の。時。に。作
の。も。れ。ぞ。あ。は。れ。様。子。一。つ。あ。る。よ。り。か。い。は。ふ。り。理
し。ろ。の。ひ。つ。つ。の。い。い。ま。む。様。を。十。七。の。日。ま。で。あ。た

る。ふ。ま。り。て。す。ね。の。出。て。難。家。ふ。あ。つ。い。せ。め。て。さ。ね。の
か。ら。た。る。よ。の。様。子。ひ。つ。つ。は。や。い。お。も。い。め。け。格
ふ。む。つ。は。お。事。ふ。由。な。い。や。て。お。ら。お。つ。ま。さ
む。る。飯。あ。ど。く。ふ。い。あ。ら。い。ま。ま。も。な。い。あ。は。い。夜
ふ。つ。ま。お。食。ご。い。ふ。ゆ。も。な。い。つ。た。今。時。の。お。れ。ハ
お。様。の。ま。た。お。は。い。つ。つ。い。い。合。を。は。い。ひ。を。い
合。物。よ。い。ろ。の。あ。は。れ。も。事。め。れ。る。お。は。い。の。限
あ。ま。い。り。て。又。一。つ。も。お。様。の。お。れ。を。い。う。て。ま。ご。の。り
の。ゆ。え。後。い。ま。は。子。ご。も。志。こ。ら。名。を。い。つ。根。は。い。い

おあん



八
梅
桂
叢
書



梅
田
叢
書

ひひ。今も老人のむし。ける哉引て。尚世小
すとは。表根をひぬ。信流めいふ。この人よめは
備わし。る。その。他國にその。小ハ。海に。後
國。郷。法。が。理。

右吉原土州。粗。秋。む。ちり。浪人土佐。山田。村。助。
後。子。幡也。と。号。し。お。あ。ん。ハ。角。末。後。在。集。つ。婦。也。
後。吾。海。に。死。し。て。後。山。田。村。助。若。育。せ。り。若。徳。
此。の。為。は。林。母。が。室。寛。文。年。中。を。ひ。い。十。
餘。り。て。友。と。予。その。頃。ハ。九。家。あり。て。右。社。

物。づ。り。哉。折。り。起。る。事。あり。誠。に。先。任。ハ。矢。然。
如。し。と。也。正。徳。ノ。始。に。予。す。て。不。然。と。も。あ。つ。免。
て。其。の。理。一。と。む。し。一。は。り。衆。也。其。
申。の。費。減。め。む。ぶ。ぶ。の。一。は。後。孫。も。む。の。む。が。子。
お。あ。ん。ハ。表。根。を。ひ。ぬ。ま。あ。ら。む。ひ。出。後。ら。い。何。
を。お。も。む。る。ぞ。其。は。時。一。と。む。し。の。と。と。鼻。で。は。一。
ら。ふ。ゆ。も。後。も。つ。て。後。海。に。お。も。む。海。へ。又。後。に。
い。の。め。ら。む。ま。お。ぶ。ぶ。は。い。お。お。づ。あ。ら。む。は。み。を。
羅。ま。ん。と。是。後。を。め。て。新。法。を。い。う。て。海。に。あ。ら。む。

おあん

まゝに。此の。いふ。事。か。あ。り。
右一海。事實。證據。能。得。る。事。あり。誰。人。の。謀。也。
也。未。詳。推。ら。ん。は。山。田。氏。の。書。か。ら。ん。山。田。申
文。を。得。^本。此。所。持。を。い。り。出。^本。い。ふ。事。
志。の。程。

享保十五年庚戌二月廿七日

谷垣守

跋御庵物語
散樂狂言師倉谷左衛門門人某。安永年
間。自大坂持來此書。且謂狂言所云此立貞
者。蓋演之也。於是。此書始顯人間。余按此
立貞。狂言。有久。皆以余所居。稱曰御庵之語。
則御庵。非名也。其以所居。稱其人。猶僧曰御
坊。娘曰御寮。今此書曰御庵。亦老尼尊稱也。
但學蹟。與此立貞。毫不相涉。以其適同其稱。
誤為以此立貞。狂言所出。然此書。由是以顯。亦
可謂幸矣。丁酉十月。善庵。壺人。顯。

蔣塘培書

おあん

十 海桂叢書

菱湖卷大任題

おとろ物語

三河書屋花

おきく物語

田中意徳池田家祖母ハ。大ヤコのふてよ。後よ。は

り命しん人ひともそ。名なを。我わがらいそぎひなる。落珠らくしゅう

乃の日ひ元和元年みづきな。つつががひひ。居ゐりりひひ。ああののくくいま

あ。らら城じやうたたはは。おおままいいととううららずず。時ときよよそそばばのの粉こな

ののままけけをを。いいららままししてて。そのその下げ女ぢよももははたた。是これをを。

そそばば焼やめめてて。牛うしははいいややけけるるゆゆ急いそぎぎののととみみハ。

匠たけなほ虎とらはは。ままああららああららふふてて。むむつつららりりははりりののた

まま。おおままややいいとと申まをののほほののいいここ海うみくくををけ

おきく

こもむし海をいもいも二でふあさる哉取
 びて。要光院殿おぼそのうつふ。おありのい
 ばあやそのもい。うま。うらやひ。うめ時いつらあな
 来りい。をらむ。行意よ。こは致もらもひを。みな
 く。紙のせ。さぐやひ。これいあ。携もあより。あやうしな
 庭もて。は。和。睦の。侍。使。は。正。出。ひ。て。出。還。
 ありて。は。な。な。その。う。ち。よ。後。城。ゆ。え。也。そは信徳の女中
 のうらふ秀頼公御女。つ。つ。い。は。女中。は。城。ま。い。
 の。い。ま。あ。
 是はあ。か。い。ぶ。ら。つ。う。下。あ。び。も。ひ。う。し。と。
 みるれゆゆさ。それあて。る。難。あ。わ。ん。ぐ。と。と。

わが情子といひしあな。い。ま。び。も。ひ。う。し。と。と。
 その女中も。あ。ら。せ。は。て。あ。光。院。殿。は。
 家康公。御女。は。は。あ。い。は。は。あ。い。ひ。よ。あ。
 のり物な。い。も。あ。い。の。い。は。女中。は。ら。は。い。ひ。
 美。將軍様。御。あ。う。と。い。づ。は。も。女。の。ひ。も。あ。い。
 どの。女中。あ。ら。う。や。あ。い。も。い。の。い。あ。う。の。御。つ
 けら。は。あ。い。も。あ。い。は。い。は。い。は。い。は。い。は。い。は。い。は。い。
 く。い。い。も。免。角。御。下。知。い。も。い。わ。い。も。あ。い。は。い。
 多。い。と。あ。光。院。殿。お。ほ。を。ら。れ。な。い。は。う。は。あ。い。は。い。



山

梅田叢書

おきく



十

海主叢書

山



木田叢書

傳とも小津川た近親のつかやうなる所なり。
この際も、ぬれをこりて、つづふそのうち。
うらせしや、うらせしや、うらせしや、うらせしや、
のふと、ゆのつらう、時運といひ、ひながらう、
かりし、つらう、出れ、さ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、
列、あつ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、
りて、自害し、た近も、つらう、つらう、
つらう、つらう、つらう、つらう、つらう、
つらう、つらう、つらう、つらう、つらう、
つらう、つらう、つらう、つらう、つらう、

話に、実たらん、おとを、はづるあり。

右阿菊物語一卷、余得諸之友原念
齋、念齋家久蔵斯書、但未詳其所出
云、今按敘事、朴率、文、無修飾、皆其
所身經、目睹、非傳聞也、當時謂、豊太
岡、起於、激賤、掌握天下、故、務、逞、華
靡、廣、侈、奉、養、以、明、得、志、於、今、以、時、攷

合刻四書 孝經學記 片山兼山先生點
大學中庸 全一冊

孟子正文 片山兼山先生點
全三冊

周易正文 同上
全二冊

禮記正文 同上
全五冊

周禮正文 同上
全三冊

大學原本釋義 善庵朝川先生著
全一冊

趙註孟子 全四冊
後漢ノ趙岐臺卿ノ解スル處宋ノ程朱以前ニシテ別ニ見處アリ新注ヲ讀ム人マツテラ披覽セザルベカラス

左傳凡例考 越子敏著
全一冊

大學原解 錦城太田先生著
全三冊

中庸原解 同上
全三冊

三經談 晴軒太田先生著
全一冊

客杭日記 元都澤著
全一冊

論語考二編 宇士新先生著
全三冊

論語一貫 片山兼山先生著
全五冊

仁說三書 錦城太田先生著
全二冊

朱泗仁說一貫明義仁說要義三書
合刻スルモ也先生教十年ノ精カク
附スル處アリ此書ヲ著ス故ニ其說精詳
當ニ古今未發ノ秘蘊ヲ發シト云ベシ
論語ノ行ニ誤守等ヲ考ヘ經傳同語異義
等ノ數則ヲ舉ゲテ學者實ニ鴻寶トスベシ

疑問錄 太田錦城先生著
全二冊

鳳鳴集 太田錦城先生著
全三冊

晚唐十家絕句 錦城太田先生著
全二冊

杜牧 許渾 趙嘏 李商隱 溫庭筠
薛能 皮日休 陸龜蒙 吳融 韋莊
右十家絶句絶句ヲ集ム

先哲叢談

念其原先生著

全四冊

此書ハ文祿慶長ノ際ヨリ享保元文ノ頃ニ至ルマデ名聲籍甚ノ碩儒聞人ノ列傳ニシテ其姓名字號俗稱生誕没故ノ年月日迄ハ悉ク詳シク記及ビリ碑ニ存スル言ハ行ノ事蹟ヲ悉ク探擷シテ古人ニ面接シテ往事ヲ見ルガ如クアラシム其言行爲實テハ傳覽アリ振蕩アリ矯倣アリ執拗アリ介僻アリ可貴可感可訝可驚可哀可怒ノ佳話甚多ニ故ニ眷賞大ニトル時ハ脩身ノ齊家ノ模範トナスベク小クトル時ハ温故知新ノ談柄トナシテ固陋寡聞ノ謗ヲ免ルルハ此書ニヨラスシテ又何カアラム研尋ノ君子ニ度巻ヲ開カバ終日手ヲ離ラズ事ヲ得ヤル者ノオモシロキ書ナリ

藝林摘葉

井良記子編著

全一冊

音義ノ註外ヲ訂正シテ初學讀書ノ資トス簡便有用ノ書ナリ

蘇老泉文集

活字版

全四冊

甌北詩選

清趙翼先生著
大窪詩佛 西先生選

全三冊

蒼厓雜記

同上
天民書庵 菊屋三葉著

全三冊

甌北詩話

同上
天民書庵 菊屋三葉著

全四冊

四王合傳

清無名氏
名山先生選

全三冊

武功紀盛

清趙翼先生著
名山先生選

全一冊

吳三桂

取神明 子謙著

全一冊

尚可喜

子謙著

全一冊

煙草錄

清錢謙著

全一冊

詩學韻海

大興神師著

全三冊

世ニ初學作詩ノ爲ニ設ルノ書多シトハ此韻字ヲ用エテ列テ悉ク論シタルモノナリ詩ノ書ハ韻字ノ下ニ解ヲナシ又唐ノ元稹白居易等ノ大家ノ集ヨリ長韻ノ詩ヲ格出シ格ノ雙句ヲモ載セタルニ是ニ據テ其用例ヲ搜索セバ益アルト鮮ナカラズ

梧窓漫筆

錦城太田先生著

全二冊

先生平日隨筆割記ノ書也古今治乱ノ本原ヲ推シ風俗汚隆ノ條ルヲ論シ博學傳子史ヲ引テ之ヲ証シ又學術ノ雅正ヲ辨シ天人ノ秘蘊ヲ漏ス實ニ天下有用ノ珍編ナリ

童子通

山本蕉逸先生著

全一冊

此書訓點讀カノ直ニテ覺工易キ方ヲ示シ且言葉ノ端ニテ入ノ朝ヲ受ザル心得ヲホカ初學ノ用心盡シ漏ス一ナシ

同後編

同上

全二冊

前編ニ漏レタル妙論ヲ載セ又經學詩文ノ流派ヲ辨別シ其精確ヲ極メ前編同ク双璧ノ書ナリ

駱駝考

它山先生著

全一冊

歸正漫錄

安井真祐先生著

全一冊

宋明名儒數輩ノ佛老ノ害ヲ論セシテ諸書ヨリ歩履ヲ計出ス異端ノ飛路ニ迷フ者ヲ正シキ儒道ニ歸リ入ラシム

同三編

同上

全二冊

向者刊行ノ前後編四冊盛ニ世ニ行ハレ然レモ本日ニ給無三至今此三編ノ後編編名奇事魂說ヲ編合シ其外ニ當面ノ論議古今未發ノ新得ヲ揭シ其家訓勿論旁ヲ博聞ノ資ヲ詩文學習ノ資ヲ都合六冊ヲ以テ全函ヲ海寶トス

龍背發秘

太田錦城先生著 荒井亮民先生校

全二冊

春雪解話

荒井亮民先生著

全二冊

此書ハ家相ノ蘊奥ヲ著ハシテ衆人ノ為ニ福利ヲ導ク妙訣ナリ古ヨリ此類ノ書數種アリテ生起昭寂ノ事ヲ載ルト雖モ元此事ハ易理ニ出テ聖人ノ人ニ教テ害ヲ避ケ利ニ就キムヲ導テ吉ニ趨ク一端ナリヲ言ハズ今此編ハ專ラ漢土ニ云家相ノ周易ノ原ツキ黃帝ノ宅經梁簡文ノ竈經トド秘ヲ探リタル古ヨリ傳ル家相ノ諸書トシテ發明スル処アリテ家相ノ理ヲ窮ムル必讀ノ書ナリ

龍背師傳圖說

太田錦城先生直傳 亮民先生著 全三冊

此書家造ノ形相地面ノ張丈等ヲ圖ニ顯シ圖毎ニ口傳ヲ述テ出入ノ盛衰元ヨリ子眷篤ノ幸ヲ親子ノ間ニ故障アル片輪ナリ子孫出生マール人等ニ不忠ナル者はアハル家ニ崇ルカ劍ヲ所持ナス又火難水難病難色難盜難等ニ至マテ眼前ニ知得ル妙訣ナリ一覽ニテ其虛ヲラハルヲ知玉クベシ

思貽空管城二譜

廣澤先生著 全一冊

此書ハ廣澤先生當ニ和筆ノ製用ニ當ラズ唐筆ノ善ニ及バザルヲ憾ニ專ラ唐式ニ據リテ手ツカラ細筆巨筆ヲ製造シテ試ムルニスクシテ其説ヲ委ク録シ又各圖式ヲ作リテ此ニ書ヲ著スルハ海ニ藝林ノ開典ヲ補フ書ナリ

胸中山

全一冊

太田錦城先生ノ画譜ナリ大儒ノ戲墨ニ神北鬼漫變々ノ奇ヲキク

緇林年芳

迎刻

全三冊

譯解笑林廣記

遊戯主人纂輯 猿蓑譯解 全二冊

此書ハ世尊ノ降誕涅槃ヲ初トシテ和漢佛寺ノ始佛像ノ傳來或ハ佛圖畫ノ翻譯佛法ノ奇異或ハ石勒ノ佛圖畫ヲ信ニ違傳ノ梁武帝ニ見ヘ或ハ百濟ノ曇惠我朝ニ來リ空海ノ唐ニ入ル等ノ西域ニ至リ日蓮ノ一宗ヲ弘ル等ノ事實百般後漢ノ明帝ニ起リ我天保年間マデ支ヲ符シ紀元ノ擧ゲ和漢ノ書數十部ヲ以テ其下ニ少部志ノ小傳ヲ記載シタレバ和漢ノ度高僧ノ年數ヲ探リ履歷頗ホ索ルニ甚便利ノ書ナリ

遊仙屈抄

唐張文成作 學士伊時點

全五冊

本邦ニテ中華ノ小説ヲ譯解スルハ此書ノ以テ始祖トス嵯峨天皇ノ時學士伊時ナルモノ神仙ノ訣ヲ得テコレヲ辭ストイヘリ小説家必讀ノ書ナリ

悟坡教諭

錦城先生附言 亮民先生著

全二冊

世教勸戒ノ意ヲ主トシテ旁ラ故事古事ヲ引テ證明シタル悟窓漫筆ニ類シテ必別ニ捷徑ヲ開キタル珍書ナリ

談鋒資鏡

亮民亮井先生著

全二冊

此書ハ平日錦城先生ニ聞ク及ビ隨筆中論スル処ヲ割記シテ學身博識ノ資トス又小説ノ奇事奇談等彙タバ大ニ看ルルヲ悦ハシム

近代著述目錄

同後編 五藏堂主人輯 同近刻 全五冊

慶長年間ヨリ天保ノ今ニ至ルマデ其道三名アルノ著述ヲ枚載シ通編イロハ四十七音ヘ其姓氏ヲ排列セリイ部ハ伊藤仁齋伊勢貞丈ト表シ其下ニ書目ヲ舉タリ近世目錄ノ書頗ル多シトイヘ皆板行セル者ノミヲ載テ諸家ノ深秘寫本ヲ以テ世ニ孤行セル者ヲ記スルコトナシ此書ハ珍卷奇冊ノノ聞見ニ及バザル者ヲモ探索シテ遺メヨナシ只書目ヲ知ノミナラズ諸家ノ姓名字號俗稱異等ヲモ詳ニ附シタリ其小傳ノ用ニ充ルニ足リ雲顛ノ君子一本ヲ架上ニ貯シ一過讀シ五ハ更ニ博識ノ一助トナルニシ

掌中書名便覽

高井蘭菴著 全一冊 折本 上ハ六經ヨリ下ハ柳史ニ至ルマデ其目ヲ掲ゲ一見シテ益アルニシ

唐土歷代著述目錄

此書ハ初メニ御製ノ書目ヲ舉ゲ次ニ歷代名家ノ著述聖賢ノ經傳ヨリ諸子百家ノ書演義小説ノ類ニ至ルマデ悉ク枚録シイロハ四十七音ヘ其姓氏ヲ配入テ前後新舊ノ次序ヲ分チ其下ニ書目ヲ舉ベ索檢ニ便ナラシム讀書家一本ヲ貯ヘ披覽ニ玉ハ多クノ利益ヲ得ベシ

朱子家訓經典餘師

齊田先生著 全一冊 此書ハ南宋ノ名儒朱子平生子弟ヲ尊キ教ラレシ家訓ニ人倫道法ノ五常ノ理ヲ述ラレシニ身ヲ脩メ家ヲ齊メ最ニ善ナリ故ニ今國字ヲ以テ審ニ和辭ニ充ル

朱子年譜略

高宮由章著 全一紙

朱子訓子狀

高宮由章著 全一冊

西銘附東銘

全一冊

產科發蒙

片倉元周先生著 全四冊 此書ハ妊娠中ノ諸症臨産ノ經驗治方ヲ悉ク舉ゲ生産論翼ノ備ハラザルヲ補ヒ萬古以テ未嘗書コレナキ所ヲ發明シ又ハ蘭心難産ノ圖ニトセテ翻譯シテ審ニ示シ且家秘ノ妙方ヲアラハシタレバ其治療ニ益アルヲ舉テ數ニカラズ醫ヲ業トスルモノ一日モ此書ヲクンバアルベクナラズ

靜儉堂治驗

同上 全三冊 此書ハ先生數十年來ノ治驗百中ノ一ヲシルシ置レタルヲ集メラレタルナリ病者ノ姓名住所前醫ノ治方又ハ自己ノ與ヘタル藥効アル初メヲ包ムナクカレ又麻疹ノ經驗方肝症ノ治方並ニ弟子大森氏ノ治効十餘條ヲ記シ又癩醫ノ治方一能ハル奇疾ヲ治シタル等國字ヲ以テ書レタレ實ニ後進有益ノ書ナリ

儼癩新書

片倉元周先生著 全一冊 此書ハ古ヨリ難治ノ癩病ヲ先ト燒針ヲ刺シ癩癬ヲ以テ毒ヲ去ル事ヲ發明シ千古以來ノ照キ治術ヲ萬世ニ傳ルナリ又癩瘡ノ治法此書ヲ能ク及履シテ讀トキ如何ナル難症ニテモ治セザルハナシ實ニ天下第一ノ奇書ナリ

傷寒啓微

同上 全三冊 此書ハ傷寒論ノ諸註家未ダ言ハザル所ノ奧義ヲ發シ瘟疫ト傷寒ト同病トヲ辨明シ時傷寒金匱ニ書ル方ニテ症ニ臨ミテ又經驗スルトコロノ新定十七方並ニ時症ノ方ヲアゲテ治療ノ助メニ今時症ニ其益甚クシテ人ヲ濟メニ深切ナリナリソノ新定スル所ノ諸方又死症ヲ發明スル探ノ妙處ニイタリテ實ニ景ノ羽翼ト謂ベシ

青囊瑣採

片倉元周先生著

全三冊

此書ハ先生漫筆ニシテ又ノ戒トナリ又初
堂ニ勸業ヲ勸ム人情ノ免ルル所ヲ記シ
且奇効アル秘方並ニ甲斐徳本ノ經驗
十九方ノ主治藥方ヲ擧ク醫家ノ重寶
ナル書ニシテ又俗家ニテモ是ヲ讀トキハ
發憤シテ壯年ノ益トナルト多シ

瘍科秘録

東軒本間先生著

全三冊

華岡翁ノ遺教ヲ述又先生ノ自ラ發明
スル所ヲ初ニ病名ヲ正シ論ズル
書アリ初ニ病名ヲ正シ論ズル
ニ脈證ヲ説キ瘡瘍ノ變正輕重死生等
ヲ詳ニス終ニ禁方秘術ヲ載セ實ニ瘍
科ノ全書ナリ此書ヲ熟讀シテ治瘡
ヲ施ス寸ハ起死回生ノ功ヲ立所ニ成
ス

痘疹不求人方論

明末醫學家著

全一冊

痘疹ノ症ハ昔ハ不治ノ疾トシテ人ノ畏ル所ナリ
然レドモ此書ニテハ方論ヲ明カニシテ治法ヲ示シ
且其ノ源流ヲ考ヘ古今ノ變遷ヲ論ズルハ
余ノ所ニテハ初ニ病名ヲ正シ論ズル
書アリ初ニ病名ヲ正シ論ズル
ニ脈證ヲ説キ瘡瘍ノ變正輕重死生等
ヲ詳ニス終ニ禁方秘術ヲ載セ實ニ瘍
科ノ全書ナリ此書ヲ熟讀シテ治瘡
ヲ施ス寸ハ起死回生ノ功ヲ立所ニ成
ス

歷代名醫一覽

雄門先生著

全一冊

凡散方機
此書ハ東洞先生ノ作ニシテ金匱傷寒方機
妙用アルヲ記セリ是先生常用ノ方ニシテ
臨病機變活用ノ書ニシテ且凡散兼用ノ
法ヲモ載セタル大ニ醫學治療ノ益トナル

秘傳重寶記

西面著

折本

此書ハ病毒ノ外ニシテ
兼ニ花柳ノ毒又ハ衣被ノ毒ノ油ノ毒
等中藥ノ急効ノ方ヲ載セタル也
士農工商ノ各業中ニテ日用至宜有美ノ記也

簡易養生記

酒悟憲先生著

全一冊

法急病ノ痛者ヲ救ヤる
法急病ノ痛者ヲ救ヤる
法急病ノ痛者ヲ救ヤる
法急病ノ痛者ヲ救ヤる

書學大綱

神田北海先生著

全一冊

此書ハ執筆ノ法ヲ止シ古今ノ論説ヲ
リ又擧テ研究ナシ明ニ解シメハ和漢
古今書法ノ必用ナリ

舊蹟紀聞

立綱法師著

全二冊

皇朝ノ事蹟ヲ考ヘ古語古書ヲ引證
テ國學ノ一助トス

三餘叢談

柳屋主人著

全二冊

皇朝ノ國史或ハ古語古書ヲ引證
テ國學ノ一助トス

翁野さし記行

成美大人抄

全一冊

翁野十一郎ノ事ヲ記シ甲子吟
ノ記述ニ我々ノ見聞ヲ加ヘ
評論ヲ引又翁野ノ事蹟ヲ推シ
て其ノ事ヲ翁野ノ換骨トス

近世名家書画談

安西雲煙著

全二冊

凡書海画論ハ古人ノ説
此書をあぐ又由古傳行の書画を
知ホの事又書小係りし
畫非違手掛物表具又捲展の
の字ニテハ名手ノ下ハ
それニ採りてのヤモ
の畫ニ採りてのヤモ
の畫ニ採りてのヤモ

同二編

同上

全四冊

此書ハ編下ノ書ニシテ體字ノ
とクテ書ノ家種類ヲ
本意トシテ意ノ書ニシテ
人の體字ノ書ニシテ
此書ハ編下ノ書ニシテ體字ノ

增補 年中用文大成 福泉堂先生筆 大冊 全一冊

此書ハ世々傳フイハシク御筆ノ筆ノ妙アリ
工巧ナルヲ一覽シテハ其ノ妙ヲ知ルベシ
下敷ニ有テハ其ノ妙ヲ知ルベシ
御筆ノ筆ノ妙アリ

增補 紅梅用文章 同筆 全一冊

此書ハ年中用文ノ大ニシテ其ノ妙アリ
工巧ナルヲ一覽シテハ其ノ妙ヲ知ルベシ
下敷ニ有テハ其ノ妙ヲ知ルベシ
御筆ノ筆ノ妙アリ

增補 女諸用文章 御家橋正敬筆 全二冊

世々女用文章ノ有テハ其ノ妙アリ
工巧ナルヲ一覽シテハ其ノ妙ヲ知ルベシ
下敷ニ有テハ其ノ妙ヲ知ルベシ
御筆ノ筆ノ妙アリ

慶劫記 十露盤獨稽古 山本三三著 全一冊

此書ハ世々傳フイハシク御筆ノ筆ノ妙アリ
工巧ナルヲ一覽シテハ其ノ妙ヲ知ルベシ
下敷ニ有テハ其ノ妙ヲ知ルベシ
御筆ノ筆ノ妙アリ

子孫繁昌記 手島塔菴著 全一冊

此書ハ世々傳フイハシク御筆ノ筆ノ妙アリ
工巧ナルヲ一覽シテハ其ノ妙ヲ知ルベシ
下敷ニ有テハ其ノ妙ヲ知ルベシ
御筆ノ筆ノ妙アリ

家業相續力抄 土屋巨村著 全一冊

此書ハ世々傳フイハシク御筆ノ筆ノ妙アリ
工巧ナルヲ一覽シテハ其ノ妙ヲ知ルベシ
下敷ニ有テハ其ノ妙ヲ知ルベシ
御筆ノ筆ノ妙アリ

墨河八景帖 御家橋正敬筆 全一冊

長雄書札文集 船田耕山著 全一冊

通俗用文章 全一冊

經典 餘師 弟了職 淺白年光中著 全一冊

此書ハ世々傳フイハシク御筆ノ筆ノ妙アリ
工巧ナルヲ一覽シテハ其ノ妙ヲ知ルベシ
下敷ニ有テハ其ノ妙ヲ知ルベシ
御筆ノ筆ノ妙アリ

實語教童子教證註 振野亭著 全一冊

古狀揃證註 高井蘭山翁著 全一冊

御成敗式目證註 同上 全一冊

日本國郡附 西面摺 一紙

古錢鑑價附 全一冊

泰平年代記 西面摺 全一冊

今川童蒙解 全三冊

大橋先生手簡

全一帖 御成敗式目頭書繪抄 全冊

蓮池堂任槐帖

全一冊 同假名附 全冊

長雄女今川

全一冊 同抄 全冊

女今川十代見種

頭書 全一冊 庭訓往來無點 全冊

實語教童子教

頭書 無點 全一冊 弘文庭訓往來 臨泉堂書 大字無點 全冊

同頭書兩點

全一冊 教讀庭訓往來寶文房 假名附 頭書 全冊

古狀揃萬寶藏

頭書 無點 全一冊

文貨古狀揃

頭書 假名附 全一冊

古狀揃講釈

高井蘭山注 全一冊

泰平江戸往來

頭書 無點 全一冊

三都

京都寺町通松原下町 勝村 治右衛門

大坂心齋橋通北久太郎町 河内屋 喜兵衛

同 安堂寺町 秋田屋 太右衛門

同 博勞町 河内屋 茂兵衛

同 南久太郎町 伊丹屋 善兵衛

尾州名古屋本町七丁目 永樂屋 東四郎

江戸日本橋通一丁目 須原屋 茂兵衛

同 淺草茅町二丁目 須原屋 伊八

同 日本橋通二丁目 山城屋 佐兵衛

同 芝神明前 岡田屋 嘉七

同 横山町三丁目 和泉屋 金右衛門

書物

問屋

